



“何を、何時求められているか” —CN100年に向けて—

船橋ライオンズクラブ 会長

L 木 全 純

船橋ライオンズクラブCN50周年を迎えた本日、ご来賓各位、キャビネット役員、ブラザークラブ、姉妹提携クラブの皆様にご臨席を賜り、心より感謝申し上げますと共に歓迎申し上げます。

船橋ライオンズクラブは東京浅草ライオンズクラブのスポンサーにより、千葉県で2番目に結成されたクラブであります。会長スローガンの「獅子相承 半世紀を紡ぐ L字の誇り」は僭越ながら少しでも先輩方のライオニズムを受け継ぎ、それを次代に繋げていく決意として掲げました。

日本に初めてライオンズクラブが誕生してから来年で60周年を迎えます。東京ライオンズクラブの例会に於いて、国歌を歌うということが当時はどれほど困難だったのか、そこに込められた日本人の想いというものは、私の想像を遥かに超えるものだと思います。フィリピンとの国際交流の中で誕生した日本ライオンズの歴史は、資料だけでは紐解くことが出来ず、各クラブのメンバーとの交流によって受け継がれているものと実感します。船橋ライオンズクラブのチャーターメンバーであるL 斎藤貞雄さんが子クラブに授けた例会のゴングが今も尚、変わらずに鳴り響いているということには、歴史と絆を感じます。あるメンバーが入会当時の私にこう言いました。

「このL字のバッジを胸につけていれば、全国、全世界、どこのライオンズクラブに行っても歓迎される」

事実、そのとおりで、訪問させて頂いたクラブ、行事では私のような未熟者でも、受け入れてくれました。

和やかで楽しい例会、そして年齢や立場も関係なく対等であり相手を敬う姿勢、少し大げさな表現で言えば、日本人の精神美とも言えるような「和敬」の心がライオンズクラブの中に見出せるのではないのでしょうか。

私がライオンズクラブに入会となったのは、6年以上前に検索サイトのヤフーで「ライオンズクラブ 船橋」と入力したことがきっかけでした。何故、他団体への入会やレオクラブへの入会を考えなかったのか、と聞かれることがあります。それは奉仕団体というものに対して、私がライオンズクラブという団体しか知らなかったからで、入会後に他団体やレオクラブの存在を知りました。そのたった一つの情報の有無で私の人生は大きく変わったのです。メンバー内外との交流によって会員増強に繋がるのが基本だと考えます。ただ、時代が変わってきているという事実もあります。近年ではインターネット上の百科事典等を駆使して、主観的な情報だけでなく客観的な情報を得て、ライオンズクラブというものが世界最大の奉仕団体であるということ、その活動内容について理解を示される方も多いと思います。PRによる社会的認知と地域交流を今後も大切に、益々の会員増強を目指して参ります。

近年はALERTという言葉強く意識せざるを得ない出来事が世界各地で起きています。一瞬一瞬で移り変わっていく過現未の中で、ライオニズムの本質を見失わず、社会の危機に対して、迅速な判断と対応をしなければなりません。危機管理の意識をしっかりと持ち「何を何時求められているか」という判断を誤らないよう、情報と行動をコントロールする必要もあります。

皆様ご存知の通り、ライオンズ紋章にあるライオンは過去と未来の両方を見つめています。伝統への誇りと未来への自信を表しながら、次の50年へ進んでいく所存です。

結びに、本日ご臨席頂きました皆様方のご健勝と益々のご発展をご祈念申し上げまして、ご挨拶とさせていただきます。



歓迎のご挨拶

船橋ライオンズクラブ
CN50周年実行委員長

L 高松成一



春たけなわの本日、船橋ライオンズクラブCN50周年記念例会開催にあたり、船橋市長藤代孝七様はじめ御来賓各位、333-C地区ガバナーL竹下徳永並びにキャビネット役員及びブラザークラブの皆様には公私ご多忙の処、御臨席賜り厚く御礼申し上げます。

多くのお仲間にもまれて、CN50周年記念例会を挙行出来ます事は私どもクラブ会員一同この上ない喜びであり光栄に存じます。

50年という長い歳月の中で、やむなく退会をされたメンバーや残念ながらころざし半ばにして物故なされた方々もおられました。一時は極度に会員数が減少した時期もありましたが残ったメンバーが危機感を実感し「このクラブの伝統を伝説にするな」の掛け声の下、獅子奮迅し今日に至りました。

激動する時代背景の中、親クラブを始めとしてブラザークラブや友好クラブのご助力があったればこそ今日の記念例会を迎えられるのだと感謝しております。

先輩たちによって築かれてきた歴史や伝統を重んじ、更なる発展を目指し、地域社会に密着した身の丈に合った奉仕活動に精進したいと思っています。

また、50年の長きにわたりメンバーを支えて下さいました船橋LCライオンズレディの方々やご家族の皆様方には今後共より一層のご理解とご協力をお願いいたします。

結びにご臨席の皆様の更なるご活躍とご健勝をご祈念申し上げご挨拶といたします。



青少年健全育成に敬意
“ 市政発展のご協力に感恩 ”

船橋市長

藤代孝七



船橋ライオンズクラブがチャーターナイト50周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。

貴クラブは、市内で最初のライオンズクラブとして結成されて以来、半世紀にわたり、歴代会長のもと会員の皆様が奉仕の心を持って、青少年の健全育成をはじめ、社会福祉、環境保全など、幅広い分野で活動が続けられ、市政発展に多大なるご協力を頂いてまいりました。皆様に心より敬意を表しますとともに、深く感謝申し上げます。

今、社会には、少子・高齢化や地球温暖化など、将来に向けて解決しなければならない様々な課題が存在しております。こうした中で、私たち大人一人ひとりが、次代を担う子どもたちにより良い社会を引き継ぐために、それぞれの立場から最善を尽くしていくことが大切であろうと思います。

これまで皆様が、一步一步、未来に向け着実に積み重ねてこられた活動は、必ずや、大きな成果となって返って来るものと確信しております。

市といたしましても、住み良いまちづくりに、全力を尽くしてまいりますので、皆様には一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

船橋ライオンズクラブが、チャーターナイト50周年を機に益々ご発展されますことをお祈り申し上げますとともに、皆様方のご健勝と一層のご活躍をお祈りいたします。



“幅広い奉仕の実践に敬尚”

千葉県知事

森田 健作



船橋ライオンズクラブが結成50周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

会員の皆様には、長きにわたり、献血の推進、薬物乱用防止活動など、様々な分野で御協力を賜り、誠にありがとうございます。

また、皆様は、中学生弁論大会の開催や「ライオンズ視力のためのリサイクルプログラム」として、不要となった中古眼鏡を全国から集め、発展途上国へ寄贈されるなど、青少年の健全育成や国際交流など幅広く奉仕を実践されておりますことに深く敬意を表します。

さて、千葉県は、我が国の玄関口である成田国際空港、東京湾アクアライン、風光明媚な自然や全国屈指の農林水産業、商工業など、限りなく高いポテンシャルを有しています。

こうした宝・ポテンシャルに光を当て、最大限に発揮すれば、首都圏、ひいては日本をリードしていただくの実力を十分持っています。

その実力の源こそ、県民の皆様のお力に他なりません。

皆様が取り組まれる奉仕活動は、人と人との繋がりや信頼関係を生み出し、住みやすい地域づくりの原動力となっています。まさに皆様は地域の力として大変心強い存在です。

私も、先頭に立って千葉の魅力を積極的にアピールするとともに、620万県民の皆様と一致団結して、「千葉に生まれ、千葉に住んで、千葉で働けて良かった」と思われるよう、より一層光り輝く千葉県づくりに邁進してまいります。

今後とも、御支援、御協力をお願いするとともに、皆様の御多幸と御活躍をお祈りして、あいさついたします。